

答申のサブタイトルについて

1. サブタイトルの必要性

これまでの審議においても、答申においては、メッセージ性のあるサブタイトルを付けることが必要であると考えており、本年9月25日に取りまとめられた中間取りまとめでは、物流の将来像を端的に表すメッセージとして、「新たな価値を生み出す物流の未来へ向けて」と記したところである。

なお、中間取りまとめでは、以下のとおり記述されており、これまでの偏ったイメージを払拭し、実態に即しつつ、前向きな「ふさわしいメッセージ」を用いて発信していくこととされている。

「『今後の物流政策の基本的な方向性等について』に関する審議の中間取りまとめ」(平成27年9月25日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会、交通政策審議会交通体系分科会物流部会)【抜粋】

Ⅱ 物流政策の基本的な方向性について1-4. 将来の物流のあるべき姿を見据えた骨太で中長期的な物流政策の確立

上記のような点に加え、さらに、将来の社会経済情勢の変化を見据え、その中で物流がどのような役割を果たし、社会に貢献していくか、物流システムとしてどのように発展を遂げていくか、という物流の将来像を明確にしていく必要がある。

これまでの物流のイメージを払拭し、明確で、より前向きな物流の将来像を構築し、それにふさわしいメッセージを用いた効果的な発信を行うことが重要である。また、物流関係者としても、自らの問題として、産業全体で主体的な取組を進めることが望まれる。(後略)

2. 答申のサブタイトルの考え方について

「物流が目指すべき将来像」でも記述したとおり、製造業や流通業等の荷主企業への対応はもちろんであるが、それらに依存した存在にとどまらず、今後、1つの独立した産業として、自らがどのような付加価値を生み出し、どのように社会へ貢献していくのか、といった点を特に強く発信していくことが重要である。

サブタイトルでは、このような物流の将来像を端的に表し、国民向けレポートとして、分かりやすい表現を用いたメッセージとする必要がある。

3. サブタイトルの候補について

以下の要素を参考にこれらを組み合わせ、今後、物流事業が発展し、役割を果たし続けるイメージを端的に表現する、アピール力のあるメッセージを答申のサブタイトルとする方向で、さらに検討を深める必要がある。

<価値を創り出すことに重点を置いた案>

- a. 新たな価値を共創し続ける賢い物流へ
- b. 新たな価値を共創し、未来を切り拓く物流へ
- c. クリエイティブ・ロジスティクス
- d. 社会に新しい価値をもたらし続ける物流へ

<物流が経済・社会を変えることに重点を置いた案>

- e. 社会を変え、未来を創る物流へ
- f. 日本を変える物流へ
- g. 社会の仕組みと暮らしを変える物流へ

<物流の今後のあるべき姿を反映することに重点を置いた案>

- h. 賢い物流／スマート・ロジスティクス
- i. 物流生産性革命
- j. サステナブル物流
- k. 持続性のある物流
- l. ビューティフル・ロジスティクス
- m. 格好いい物流
- n. 魅力アップで人材確保
- o. 選ばれる産業としての物流へ
- p. 魅力向上を図る物流
- q. 社会を豊かに、働く人を幸せにする物流へ

<連携して取り組むことや先進的技術を活用することに重点を置いた案>

- r. スクラムを組んで～／手を携えて～／肩を組んで～
- s. ニューテクノロジー／新たなテクノロジーを取り入れた